

令和8年千葉豪雨の教訓から学ぶ 車両水没から命を守るための備えと行動



目的：	正常性バイアスを打ち砕き、命綱の準備を完了させること
-----	----------------------------

対象：	すべてのドライバーと安全運転管理者
-----	-------------------

安全神話の崩壊。 被災者の過半数は「想定外」の場所にいた



「色が付いていない場所＝安全」ではない。
都市型水害においては、どこにいても車内閉じ込めのリスクがある。

排水能力の限界を超える「内水氾濫」の脅威

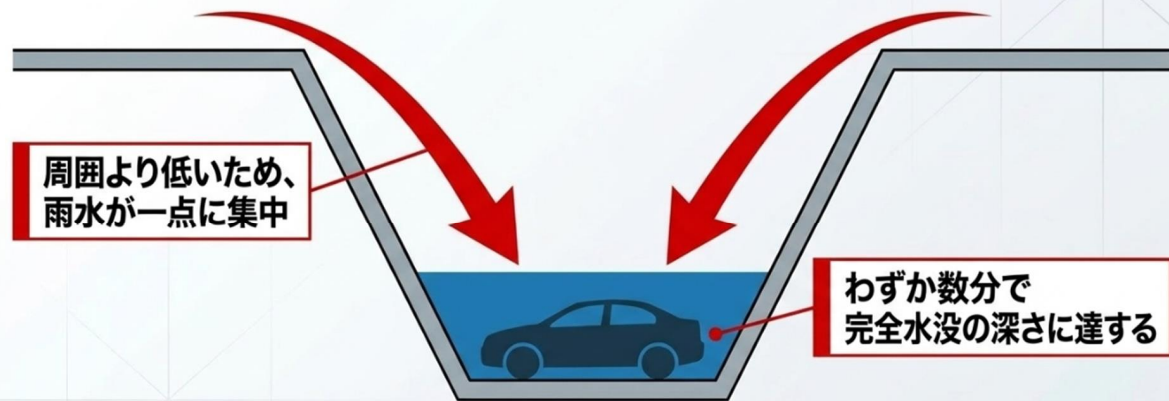
線状降水帯：
1時間100mm超の猛烈な雨



逆流・溢水により数分で
道路が川に変わる

下水道の処理限界：
1時間50mm程度

数分で形成される掘り鉢状の死地「アンダーパス」



周囲より低いため、
雨水が一点に集中

わずか数分で
完全水没の深さに達する

「前の車が行けたから」「SUVだから」
という過信は厳禁。絶対に進入しない。

完全水没

もし、濁流に囲まれたら？ 生死を分ける「時間のタイムライン」

国交省・JAFの検証に基づく、
命を守る脱出4ステップ。
刻一刻と奪われていく選択肢を
シミュレーションする。

ドア半分

床面

生死を分ける水位と脱出手段の変化

完全水没

	ドア	窓	ハンマー
【水位：床面】	○	○	—
【水位：ドアの半分】	× (水圧)	△ (ショート危険)	○
【水位：完全水没】	○ (内外圧同等時)	×	○

ドア半分



床面

Step 1 & 2 : 水が浅いうちに、ドアか窓から逃げる

【Step 1 : 初動】



水深が浅く、水圧が低いうちにすぐに「ドア」を開けて外へ出る。

【Step 2 : 電気系統停止前】



水圧でドアが重くなった場合、ショートする前にすぐに窓を全開にする。

床面

床面

Step 3 : 密室化。脱出用ハンマーでサイドガラスを砕く

ドアも窓も開かなくなった
場合の唯一の手段。



手の届く場所にある
「緊急脱出用ハンマー」を
使用し、窓ガラスを叩き割る。

※注意：フロントガラスは
叩かないこと。

ドア半分 ▶



Step 4：最後の手段。 絶望せず、水位が同等になるのを待つ



完全水没

ドア半分

床面

パニックにならず、大きく息を吸い込む



車内と車外の水位差がなくなる（同程度になる）と、ドアへの水圧が下がる



足などに力を込めて一気にドアを押し開ける

ハンマーがあれば絶対に安心か？重大な落とし穴

注意

前面等の
合わせガラスは
脱出用ハンマーで
割ることは
できません。

「ハンマーを叩きつけても、ガラスがゴムのように弾き返してくる」
ガラスの性質を知らなければ、命綱は役に立たない。

【現実】すべての窓ガラスが ハンマーで割れるわけではない



「合わせガラス」の罠

フロントガラスや、近年増加しているサイドガラスの「合わせガラス」は、緊急脱出用ハンマーでも絶対に割れません。

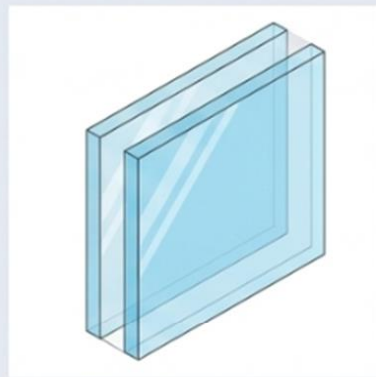
割れる「強化ガラス」vs 割れない「合わせガラス」



【強化ガラス】

主にサイドガラス等。
割れると尖りのない小さな破片になる。

✓ ハンマーで破砕可能



【合わせガラス】

フロントガラス（近年は一部のドア/リアにも採用）。2枚のガラスの間に特殊フィルム（中間膜）がある。

✗ ヒビが入るだけで破砕不可能



今日、自分の車のドアガラスがどちらのタイプか必ず確認すること。

命を分けるガラスの違い

	【合わせガラス】	【強化ガラス】
刻印マーク		
特徴	2枚のガラスの間に 特殊フィルム。 粉々にならない。 	割れると尖りのない 小さな破片になる。 
ハンマー	× 割れない 	○ 割れる 
主な場所	フロント全面。 一部車種はサイドやリアにも。	主にサイド、リアガラス。

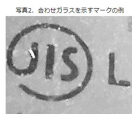


あなたの車の窓は？ 今すぐできる「2ステップ確認」

車のサイドガラスの確認
前後で違う場合もある

Step 1: 刻印を見る

- 強化ガラス（ハンマーが使える）
 - 「TEMPERED」
 - 「TP」
 - 「TUFLITE」
 - 波打つようなグラフィック（強化加工を示すシンボル）
- 合わせガラス（ハンマーが使えない）
 - 「LAMINATED」
 - 「LAMISAFE」
 - 「LAMIPANE」
 - 「L」



Step 2: 断面を触る



分からなかったら
販売店に確認する

窓の隅のマークを確認する。（※記載がない車種もあります）

窓を数センチ開け、上部のフチを確認する。

「命綱」の選び方。性能を保証する信頼のマーク



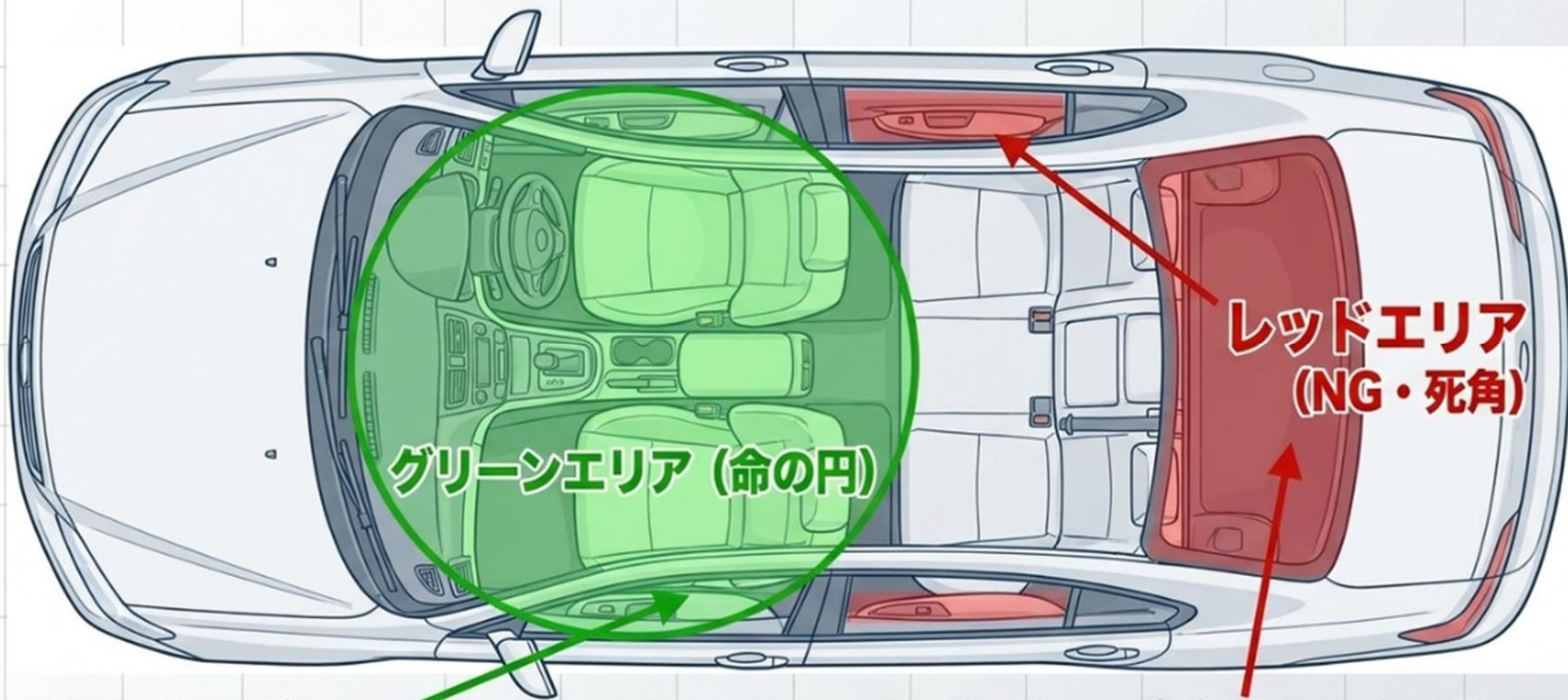
価格帯：3,000円未満程度で入手可能（カー用品店、ホームセンター等）

絶対条件：粗悪品を避ける品質保証表示



国民生活センターのテストをクリアした、
た、JISマークやGSマークがあるもの、
または販売店推奨品を選ぶこと。
粗悪品は窓を割れない。

空間マッピング：生死を分ける「ハンマーの定位置」



運転席のドアポケット、センターコンソール トランク、グローブボックスの奥。浸水時や即座に手が届く場所に「固定」する。

パニック時には絶対にアクセスできない。

脱出後の鉄則と、今日あなたがやるべきこと

【脱出後の鉄則】

脱出後は決して車に戻らず、高い場所へ避難する。

電気系統の発火リスクがあるため、水が引いても絶対にエンジンをかけないこと。

Call to Action (今日のアクション)

- ☐ 愛車のガラス仕様（合わせガラスの位置）を確認する。
- ☐ JIS/GSマーク付きの脱出用ハンマーを同乗者の分も含めて購入する。
- ☐ 運転席からすぐ手の届く「ドアポケット」に固定し、家族全員で共有する。

備えない車内は密室になる。知識とハンマーが、あなたと家族の命を開く鍵となる。